

船橋市立医療センターNews No.25

●発行年月日/平成27年7月1日 ●編集/船橋市立医療センター広報委員会 ●発行責任者/院長 高原 善治
〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎047-438-3321(代) <http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/>



「美瑛の青い池」(北海道) 当院職員撮影



地域がん診療連携拠点病院として

船橋市立医療センター院長 高原 善治

厚生労働省によると、平成23年度全国の死因1位は悪性新生物（がんや肉腫）、2位は心疾患、3位は肺炎、4位は脳血管疾患で、人口10万人に対する人数はそれぞれ283人、154人、99人、98人と悪性新生物が大きな割合を占めています。また、平成25年度の国立がん研究センターによれば、生涯にがん罹患する確率は男性62%、女性46%で、がんにより死亡する確率は男性26%、女性16%と報告されています。昭和30年頃の死因は1位脳血管疾患、2位悪性新生物、3位心疾患でしたが、当院が開院した昭和58年頃には1位悪性新生物、2位心疾患、3位脳血管疾患に変化しており、がん診療の必要性が強く望まれていました。これを受け当院では診療の1つの旗頭としてがん診療を掲げて努力を重ね、平成19年には厚生労働省から地域がん診療連携拠点病院の指定を受けることができました。厚生労働省では、現在検診の効果が科学的に証明されている5つのがんを5大がんとして検診を推奨しています。肺、胃、乳腺、大腸、肝がんがこれにあたり、当院でも診療に力を入れています。このほかのがんも含めて、確定診断、手術治療、放射線治療、化学療法そしてがん緩和医療におよぶ、時代の先端レベルの医療を市民に提供できるように常に心がけております。

目次

院長あいさつ.....	1	茂木部長が優秀学会発表賞を受賞／興梠医師が専修医奨励賞を受賞／新任者あいさつ.....	6
地域がん診療連携拠点病院としての取り組み.....	2	救命救急センターの現場から／看護師募集／公開医療講座...	7
助産外来のご案内／船橋地域医療介護連携研究会を発足...	4	外来担当医師一覧表.....	8
当院で働く人々／研修医のつぶやき.....	5		

地域がん診療連携 拠点病院としての取り組み

診療局長 丸山 尚嗣

がん診療連携拠点病院とは

全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう厚生労働省が指定している病院で、都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、特定領域がん診療連携拠点病院の3種類があります。全国で402病院、千葉県では13病院が指定されており（平成27年4月1日現在）、専門的ながん医療の提供、がん診療の連携協力体制の構築、がん患者さんに対する相談支援や情報提供などを行っています。

当院は、平成19年1月に地域がん診療連携拠点病院（以下、がん拠点病院と呼びます）に指定されており、手術、放射線治療および化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療や緩和ケアを提供する体制等を整備し、各学会の診療ガイドラインに沿った標準的治療を軸に、患者さんの状態に応じた適切な治療を提供するよう努めています。また、患者さんの体への負担をできるだけ少なくするため、内視鏡治療や腹腔鏡・胸腔鏡手術などの低侵襲治療も、保険適応の範囲内で安全性を重視して施行しています。

がん拠点病院指定の更新は4年毎に行われ、指定要件が順次新しくなり、徐々にハードルが高くなってきていますが、当院は本年4月1日に更新指定されました（千葉県や全国の拠点病院の情報は、がん情報サービス ganjoho.jp または厚生労働省ホームページをご覧ください）。

今回は、がん拠点病院としての当院の取り組みの一端をご紹介します。

カンサーボード

がん患者さんの症状、状態および治療方針等について、手術、放射線診断、放射線治療、化学療法、病理診断に携わる専門的な知識・技能を有する医師等が意見交換・共有・検討するためのカンファレンス（会議）をカンサーボードと言います。当院には、がんの治療を専門とする内科医、外科医に加えて、放射線診断医、放射線治療医、腫瘍内科医、臨床病理医が揃っています。肺がん、乳がん、胃がん、大腸がん、肝胆膵がんについて、毎月1回以上カンサーボードを開催して、患者さんの病状に応じた適切な治療方針を検討しています。



主治医に加えて放射線治療医、腫瘍内科医、臨床病理医なども参加するカンサーボード

外来化学療法室

抗がん剤治療というと一昔前まではほとんどが入院で行われていましたが、抗がん剤の進歩や抗がん剤の副作用に対する薬剤の開発、治療環境の整備により、外来でも治療できるようになってきました。外来化学療法室というのは通院で行う抗がん剤治療専用の病床です。患者さんがリラックスして治療を受けることができるようにテレビ付きのリクライニングチェアやベッドが準備されています。一人ひとりの空間はカーテンで仕切られ、プライバシーが守られるように配慮されています。当院では13人の患者さんが同時に治療できる



“チームオンコロジー船橋”が
外来化学療法をサポートします

外来化学療法室を設置しており、年ごとに利用率が上がってきています。ここではがん治療に関係する各科の専門の医師、がん薬物療法専門医（腫瘍内科医）、がん化学療法看護認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師が緊密に連携して治療にあたっており、安心して治療を受けられます。外来化学療法の良い点としては、住み慣れた自宅で家族と日常生活を送りながら治療を続けられることであり、病状にもよりますが、仕事を続けながら治療することも可能です。

緩和ケア

緩和ケアと聞くと、がん治療を終えてから実施するものと思われる方も多いのではないのでしょうか。緩和ケアは、がんに伴う肉体的・精神的苦痛を軽減するためのケアで、がんと診断された時から実施するとともに、診断、治療、在宅医療など、様々な場面で切れ目無く実施していく必要があります。当院には多職種からなる緩和ケアチーム（がんサポートチーム）があり、入院治療中の患者さんを中心にサポートしています。また、がん拠点病院では平成26年度より、がん診療に従事する医師ならびに卒後2～5年目までの医師は全員、がん緩和ケア研修を受講することになりました。当院では平成29年度までにこれらの医師全員が緩和ケア研修を受講する予定です。

昨年より当院では、がん患者さんが抱える苦痛・疼痛のスクリーニングを開始しました。まだ限られた診療科のみですが、外来あるいは入院病棟のスタッフがお渡しした問診票にお答えいただくと、その内容によって緩和ケアチームのスタッフやがん認定看護師が患者さんの身になってサポートします。

また、平成22年にE館4階に20床の緩和ケア病棟を開設し、緩和治療に専念する患者さんの入院治療を主に行っています。疼痛・苦痛が軽減されれば再び在宅療養に戻ることも可能であり、在宅療養に必要な手配のサポートも積極的に行っています。

セカンドオピニオン

他院でがんと診断された患者さんで当院でのセカンドオピニオンを希望される方は、当院の当該診療科のセカンドオピニオン外来を受診してください。専門の医師が十分な時間を取って患者さんのお話を聞き、適切なアドバイスをさせていただきます。当院から他院へのセカンドオピニオンも推奨していますので、遠慮なく担当医にお申し出ください。

がん相談支援センター

がん拠点病院には、がんに関する不安や悩みに関する相談窓口として、がん相談支援センターがあります。「病気に関する情報を知りたい」、「医療費が心配」、「退院後のことが不安」、「がんと診断され不安。話を聞いてほしい」、「セカンドオピニオンを受けたい」など、どんなことでも構いません。専任の相談員（看護師、医療ソーシャルワーカー）が患者さんやご家族のお話をうかがって、問題や気持ちの整理をしながら一緒に考え、解決のお手伝いをしていきます。当院の受診の有無にかかわらず、どなたでも相談できますので、おひとりで悩まずにまずはがん相談支援センターにご相談ください。相談料は無料です。（相談受付時間：月～金曜午前9時～午後4時、場所：E館1階）



がん相談支援センターにご相談ください

当院の診療実績

平成25年1月1日～12月31日の診療実績は以下のとおりです。

院内がん登録数（当院初回治療）	1,413件
悪性腫瘍の手術件数	1,250件
がん化学療法のべ患者数	1,123人
放射線治療のべ患者数	319人



助産外来のご案内

当院では、助産師による妊婦健診を行っています。正常な経過をたどる妊婦さんが対象です。妊娠中の過ごし方やお体のこと、お産のことや育児のことなど、ゆっくり一緒に考え、マタニティライフをサポートさせていただきます。

時 間 月～金曜日 9:00～9:30
10:00～10:30
11:00～11:30

所要時間 1回30分 完全予約制

時 期 妊娠22週 妊娠28週 妊娠32週頃
その他の時期は、医師による妊婦健診となります

予 約 妊婦健診時に、産婦人科医師または助産師にお声掛けください

費 用 妊婦一般健康診査受診票を使用しますので、特別な費用はかかりません

医師の診察が必要な場合は、直ぐに受けられるように連携を図っています。



当院における地域医療連携 ～船橋地域医療介護連携研究会を発足させました～

副院長 多部田弘士
医事課長 出戸 尚久

当院ではこれまでも地域医療連携を進めるため、地域医療連携室を強化し、連携医を募り、紹介率・逆紹介率の向上を図る等の取り組みを行ってきました。その結果、平成22年3月には千葉県内で6番目の「地域医療支援病院」の承認を受けることとなりました。

しかし近年、国は更なる「医療機関の機能分化・強化と連携」を推し進めており、当院としてもこれまで以上に地域の医療機関との連携のみならず、介護に携わる関係機関との連携も強化していく必要が生じてきました。

そこで、船橋市とその周辺において、超高齢社会を見据えた有効な医療と介護の体制を作り上げるには、関係機関が集まって知恵を出し合い、協力する必要があると考え、「船橋地域医療介護連携研究会」を発足させることとしました。市内のみならず市外の医療機関や関係機関に足を運び、設立の趣旨を説明し、参加いただけるようお声かけした結果、病院が6施設、診療所・クリニックが1施設、歯科診療所が1施設、薬局が1施設、訪問看護ステーションが2施設、地域包括支援センターが2施設と、合

せて13施設にこの研究会に参加いただけることとなりました。

平成26年11月21日（金）に第1回の研究会を開催し、今後の運営方針などについて意見交換しました。その際に「もっと地域の診療所・クリニックなどにも多く参加してほしい」との意見が出ましたので、その後、各関係機関に働きかけ5医療機関、1訪問看護ステーションにも新たに参加していただくこととなりました。

第2回の研究会は、平成27年3月13日（金）に開催しました。それとあわせて会員以外も参加できる研修会も開催し、「ケアマネジャーから見た退院支援の現状と課題」、「地域包括ケア病棟の現状と課題」をテーマに会員が講演を行いました。それぞれ時宜に合ったテーマであり、活発な議論がなされました。

今後は、栄養士同士で連携する「栄養士部会」を設置したり、関心のあるテーマを深く議論しあう場を設けたりして、ますます充実した会にしていきたいと考えています。

（文責：出戸尚久）

※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。

当院で働く人々

～退院調整看護師の仕事～

当院の退院調整看護師は、平成26年度から2名に増員され、地域医療連携室で患者さんの療養支援をしています。

退院調整看護師は、退院後も病気やけが、障害などと向き合って生活していくことになる患者さんのサポートをするために、地域にある医療機関や介護施設、事業所などとも連携しながら業務にあたっています。

退院後も病気やケガ、障害と向き合いながら過ごす患者さんやご家族に対し、意向を伺います。そして、状態に合わせて、入院された時点から退院後の状況を予測して、医師や看護師、リハビリテーションスタッフ、

薬剤師など、院内の職員と協働して退院に向けた支援を行っていきます。その後、在宅サービスの利用や在宅医療・看護を受けられるよう連携を図りながら支援・調整をしています。

入院されている患者さんだけでなく外来に通院されている患者さんの相談にも応じています。病院と在宅・地域医療の架橋として、退院調整看護師がいます。ご心配なことがありましたら、いつでもお声をおかけください。

退院調整看護師 稲垣 麦野・菅田 法子
(文責：菅田)

<活動内容>

- ①患者さん・ご家族の意思決定支援のための相談
- ②院内の多職種との相談・連絡・調整
- ③患者さん・医療者間のカンファレンスの企画・開催
- ④社会資源の活用について相談・説明
- ⑤訪問診療・訪問看護ステーションの紹介・調整
- ⑥ケアマネジャーの紹介・調整
- ⑦地域スタッフとのカンファレンスの企画・開催
(在宅療養に向けて関係職種との情報交換)
- ⑧医療機器・福祉用具業者等との連絡・調整
- ⑨地域の医療、介護スタッフからの相談・対応

研修医のつぶやき



初期臨床研修医1年 伊豆川 翔太

今年の4月より当院で初期臨床研修医として働かせていただいております。私たちはこれから2年間の初期臨床研修を経て、その後一人前の医師になるために各々の専門の道へと進んでいきます。まだまだ専門性や経験の面では未熟ですが、せっかくの機会なので今回は皆さんに「医学生から医師になるまで」の道のりを知っていただきたいと思います。

医学部というのは6年制です。基礎医学から臨床医学まで幅広く座学と病院実習を通して学びます。6年生の夏にはマッチングと呼ばれるいわゆる「就職活動」を行い、卒業後の研修先が決まるのです。そして3日間に及ぶ医師国家試験を受け、無事に合格し、医師としての第一歩を踏み出します。4月より私たちは当院の各科に配属され、約2ヶ月

ごとに様々な科をローテーションしていきます。6年間日々勉強してきましたが、臨床の場にいざ出してみると自分たちの無力さに肩を落とすことも多いです。早く一人前の医師になれるようこれからも勉強の日々は続きますが、毎日が刺激的で新鮮なので充実しています。患者さんから学ばせていただくことも非常に多いので、院内で見かけた際には気兼ねなく話しかけていただけたら幸いです！皆さんに寄り添える医療者を目指してこれからも頑張ります！



当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。

茂木健司 心臓血管外科部長が優秀学会発表賞を受賞

当院の茂木心臓血管外科部長が第42回日本血管外科学会総会での発表に対して、千葉大学心臓血管外科同門会優秀学会発表賞を受賞しました。

今回表彰された学会発表は、パネルディスカッションという形式で、自身の病院の手術方法やその結果等をまとめて発表した後、「急性A型大動脈解離に対する手術方法は何か良いのか」について全国から選ばれた6病院の医師がステージ上で論じ合うものでした。



茂木部長は「急性A型大動脈解離は、日頃から高血圧のある人や体質的に大動脈壁が弱い人に突然に発症し、一刻でも早く手術をしないと救命できない重篤な病気です。これからも、学会や論文等で得られた最先端の知識に基づいて治療し、それを発表していきます。」と今後に向けての更なる意欲を述べました。



興梠慧輔 消化器内科医師が専修医奨励賞を受賞

2月に行われた日本消化器病学会関東支部333回例会において、興梠消化器内科医師の研究発表が認められ専修医奨励賞を受賞しました。

この表彰を受けて興梠医師は「この度、学会で症例報告を行い、専修医奨励賞を受賞しました。症例報告というのは、珍しい病気の診断や、新しい治療を行った際に、その経緯を学会で報告するものです。当院には、地域から様々な患者さんが来院されるため、時には診断が難しかったり、治療に難渋したりすることがあります。その分、とても勉強になる貴重な症例と出会うことが多く、当院で指導医の熱心な指導を受けながら多くの経験ができていて幸せに感じています。今回、当院で行った治療が学会で認められたことに誇りを感じるとともに、支えていただいた方々に心より感謝いたします。今後もこの表彰に恥じないよう、患者さん一人ひとりを大切に、努力を続けていく所存です。」と、今後の抱負を語りました。



新任者あいさつ



総務課長 長島 由和

4月1日付人事異動で事務局総務課長を命ぜられました。

当院は救命救急センターを擁し急性期医療及び高度医療を提供するための総合診療機能を有する地域の中核病院として発展してきました。

近年の社会情勢や医療を取り巻く状況は大きく変化しつつあります。

当院もその影響を受けることを免れませんが、そうした中でも課せられた役割を果たすべく着実に前進することが求められています。

本年は、「高度急性期病院の確立」など4つの大きな取り組みを掲げた平成27年度～29年度中期経営計画のスタートの年であります。私も目標達成のため微力ではありますが力を尽くしたいと思っておりますのでどうかよろしくお願いいたします。

病院ボランティア（患者さんの案内や図書の整理など）を募集しています。詳しくは、医事課まで

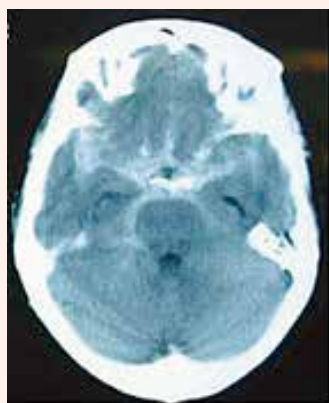
救命救急センターの現場から

～くも膜下出血（SAH：Subarachnoid Hemorrhage）～

前回、脳卒中の中でも脳梗塞が発症から4.5時間以内に血栓溶解療法を行うことで後遺症なく治る可能性があることをお話しました。今回はくも膜下出血（SAH）についてお話します。脳での出血の病気はSAHと脳内出血の2種類があります。ジャイアンツの木村拓也選手や南田洋子さんなどがSAHで亡くなっています。SAHは脳を包んでいるくも膜の下で出血が起こります。原因はほとんどが脳の血管に出来たこぶ（脳動脈瘤）の破裂です。初回の破裂での死亡率は約30%と言われています。

SAHの再出血率は発症当日が最も高いと言われており、再出血の予後は更に悪くなります。従ってSAHの治療はなるべく早期、発症から48～72時間以内に行われることが勧められています。

症状はほとんどが何の前触れもなく突然起こる激しい頭痛（ハンマーで殴られたような痛みなど）です。最近では前兆として1～3週間前に急な頭痛や、物が二重に見えるなどの症状が出ることもあると言われています。



治療は脳動脈瘤の根元を小さなクリップで挟み脳動脈瘤に血液が行かないようにする開頭動脈瘤クリッピング術と脳動脈瘤をコイルで詰めてしまう脳動脈瘤塞栓術があります。脳動脈瘤の場所や形状によって脳外科の専門医が適切に処置してくれます。

高血圧、喫煙、家族にSAHの人がいた方などはSAHを起こす可能性が高くなります。今まで生きて来た中で最もひどい頭痛を感じたら、すぐに救急車を呼んでください。SAHが疑われます。当救命救急センターでは24時間365日、SAHの患者さんに対応出来る体制を整えていますのでご安心ください。

救命救急センター長 境田 康二

講演のお知らせ

○第23回公開医療講座

「形成外科ってどんな科～整形外科？美容外科？～」

日時：7月9日（木）14：30～15：30

講師：葉丸 洋秋（形成外科部長）

会場：市民文化創造館（きらら）

定員：当日先着190人

入場
無料

○心臓病教室

日付	演 題
7/23 (木)	①意識してますか？食事のバランス！ ②糖尿病とも上手に付き合うための生活の工夫
9/10 (木)	【特別講演】脳卒中のはなし
9/24 (木)	①心筋梗塞を予防する ②そうだったのか！心臓病の薬～血圧編～

時間：13：30～14：30

講師：当院スタッフ（医師、看護師ほか）

会場：D館3階講義室

どちらの講座も 問い合わせ：医事課

平成27年度 募集概要

看 護 師 募 集

- 資 格／看護師・助産師免許をお持ちの方又は、28年3月までに取得見込みの方
- 募 集／看護師・助産師（正規）
- 休 日／4週8休制

看護補助者（パート）募集

- 資 格／特になし
- 勤務時間等／8～18時のうち当院が指定する8時間（実働7時間、休憩1時間）
土日祝日、年末年始を含む週5日

※看護師を対象とした病院説明会を開催しています。

※詳細は当院ホームページ（<http://www.mmc.funabashi.chiba.jp>）をご覧ください。

船橋市立医療センター

電話番号 047-438-3321 (代)

外 来 担 当 医 師 一 覧 表

平成27年7月1日現在

		月	火	水	木	金	備考
内科	新 患	嶋由紀子・〔交替医〕	前川 祐子	下山 立志	中村俊介・前川祐子	巴山 紀子	新患の(木)は第1・3・5中村、第2・4前川
	呼 吸 器	中村 祐之 藤田 哲雄	天野 寛之 中村 純	多部田弘士 巴山 紀子	中村 祐之 中村 純	多部田弘士 天野 寛之	消化器の(火)の水本、(水)の安藤、(木)の関、(金)の小林は予約患者のみ
	消 化 器	水本 英明	水本 英明 関 厚佳 興 梶 慧輔	安藤 健 東郷 聖子	水本 英明 関 厚佳	小林 照宗 安藤 健 石垣 飛鳥	腫瘍は、肺がん、縦隔腫瘍、原発不明がんが対象
	代 謝 腫 瘍	岩岡 秀明 平野 聡	下山 立志	中村 俊介	下山 立志	岩岡 秀明 平野 聡	
心臓血管センター	循環器 内科 予約	内山 貴史 稲垣 雅行	福澤 茂・黒岩信行 沖野 晋一	前川 潤平 稲垣雅行・内山貴史	黒岩 信行 市川壮一郎	福澤 茂 前川 祐子	※(火)は第1・3・5稲垣、第2・4内山
	心臓血管外科 新患	前川 祐子	〔交替医〕	〔交替医〕	関根有希子	沖野 晋一	
		〔手術日〕	高原善治・茂木健司	〔手術日〕		〔手術日〕	午後1時30分から ※第1・3・5高原 ※第2・4 茂木
緩和ケア内科				〔交替医〕	〔交替医〕		午前9:00～ 予約患者のみ
精神科	新 患		鄭 怜奈	榎原 雅代	鄭 怜奈		新患は事前予約が必要(電話も可)(月)午後のみ
	再 来	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦		
小 児 科		木谷 豊 竹本 直輝	佐藤 純一 内山 薫	丹羽 淳子 斉藤 裕子	木谷 豊 白鳥恵理佳・高橋 香	伊賀 裕子 坂井 美穂	(木)は第1・3・5白鳥、第2・4高橋
外科	消化器・一般	宮崎 彰成 吉岡 隆文	渡辺 義二 夏目 俊之 佐藤やよい	丸山 尚嗣 野手 洋雅	田中 元 仙波 義秀	宮崎 彰成	(月)松崎 午前のみ (火)吉原 午後のみ
	乳 腺	松崎 弘志		松崎 弘志 吉原ちさと		唐司 則之 松崎 弘志 金田 陽子	
	新 患	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	
整 形 外 科		〔交替医〕 橋本 瑛子 〔手術日〕	池之上純男 高瀬 完 染谷 幸男	三村 雅也 鮫田 寛明 新保 純	〔交替医〕 〔手術日〕	〔交替医〕 〔手術日〕	(火)・(水)は予約患者のみ(紹介状ありは可)
形 成 外 科		〔手術日〕	葉丸 洋秋	葉丸 洋秋	〔手術日〕	後藤 広和	
脳 神 経 外 科		内藤 博道 唐澤 秀治 新美 淳	唐澤 秀治 〔手術日〕	畑山 和己 唐澤 秀治 鈴木 孝典	安間 芳秀 唐澤 秀治 〔手術日〕	根本 文夫 唐澤 秀治	
呼 吸 器 外 科		内田 修 一ノ瀬修二	内田 修 一ノ瀬修二	〔手術日〕	木下 孔明 〔交替医〕	〔手術日〕	(火)は内田・一ノ瀬が交替
皮 膚 科		大田 玲奈 川島 秀介	大田 玲奈 宮川 健彦	大田 玲奈 金親 香子	宮川 健彦	〔手術日〕	予約患者のみ(紹介状ありは可)
泌 尿 器 科		武田 英男 黄田 和吉	佐藤 信夫 樋口 耕介	佐藤 信夫 〔手術日〕	佐藤 信夫 安藤 敬佑	佐藤 信夫 〔交替医〕	
産 婦 人 科		斉藤 俊雄 名古ゆり恵	名古ゆり恵 森 麻子 〔手術日〕	斉藤 俊雄 佐川 泰一 〔手術日〕	長嶋 武雄 〔外来診察医〕	佐々木直樹 長嶋 武雄 〔手術日〕	
眼 科		小林 悠里 谷口 有子	松枝 美文 〔手術日〕	上原 七生 松枝 美文	上原 七生 小林 晋二	小林 晋二 谷口 有子	(火)・(水)は予約患者のみ(紹介状ありは可)
耳鼻いんこう科		小林 皇一 堀中 敦史	〔交替医〕 派遣医師 〔手術日〕	小林 皇一 堀中 敦史	〔交替医〕 派遣医師 〔手術日〕	小林 皇一 堀中 敦史	(火)は新患のみ
放射線治療科		東ヶ崎巖太郎	有賀 隆	酢谷 真也	有賀 隆	有賀 隆	完全予約制
麻 酔 科		〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	午前9:00～11:00 予約患者のみ
歯 科 口 腔 外 科		村野 彰行	永塚啓太郎・村野彰行	村野 彰行	肥後盛洋・村野彰行	村野 彰行	
特 殊 外 来	女性専用(内科)			古池 織恵			予約患者のみ
	腎臓内科(内科)		小川 真				午後1:30～ 予約患者のみ 第1週のみ(電話も可)
	神経内科(内科)			長谷川樹里			午後1:30～ 予約患者のみ(電話も可)
	ステントグラフト外来(心外)		桜井 学				午後1:30～
	ペースメーカー外来			〔交替医〕			午後1:00～
	小児循環器(小児)	佐藤純一・〔交替医〕 斉藤 裕子	村社 歩美	佐藤 純一			午後 予約患者のみ (火)は第2・4
	小児神経(小児)				林北見・牧野道子		午後 予約患者のみ 月1回
	小児腎臓(小児)				秋岡 祐子		午後 予約患者のみ 月2回
	小児外科(外科)				光永 哲也		
	脳神経内科(脳神経外科)					東 美和	午前9:30～ 予約患者のみ
	バリエーション(脳神経外科)		唐澤 秀治		唐澤 秀治		

担当医師は、状況により変更することがありますので、受診の際には当院のホームページ等でご確認ください。

※特殊外来の小児循環器、小児神経、小児腎臓の予約および予約変更は午後2時から4時の間に小児科外来へ電話してください。